

ロンドン 2012 大会におけるODA費用の内訳及び財源について

○ ODA（オリンピック開発公社）費用

全体 67.11 億ポンド(約 12,100 億円)

(内訳)

・ オリンピックパーク内及び周辺のインフラ整備	18.26 億ポンド (約 3,300 億円)
・ 会場の整備	11.04 億ポンド (約 2,000 億円)
・ 輸送	8.16 億ポンド (約 1,500 億円)
・ 建設時のセキュリティ、工事監理等	8.59 億ポンド (約 1,600 億円)
・ IBC/MPC の整備	2.97 億ポンド (約 500 億円)
・ 選手村等の整備	10.20 億ポンド (約 1,800 億円)
・ プロジェクトマネジメント、予備費等	7.89 億ポンド (約 1,400 億円)

(財源)

・ 中央政府	43.78 億ポンド (約 7,900 億円、65%)
・ 宝くじ	16.75 億ポンド (約 3,000 億円、25%)
・ ロンドン (GLA (大ロンドン庁) 及び LDA (ロンドン開発公社))	6.58 億ポンド (約 1,200 億円、10%)

(注) 1 ポンド=181 円 (最近 10 年間の年間平均最大値と最小値の中間値)

【出典】 ODA Annual Report and Accounts 2012-2013